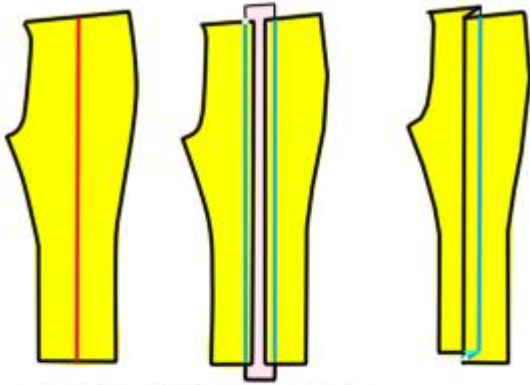


## サイズ調節の仕方

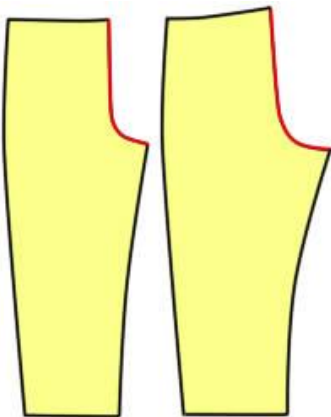


- 1)ズボンを縦半分に分割する。
  - 2)増減したい分量÷4を計算する(A)
- 型紙を広げたい場合は(A)分間に紙をはさむ。  
縮めたい場合は重ねて小さくするだけでOK  
同じようにベルトも広げたりたんだりしてください

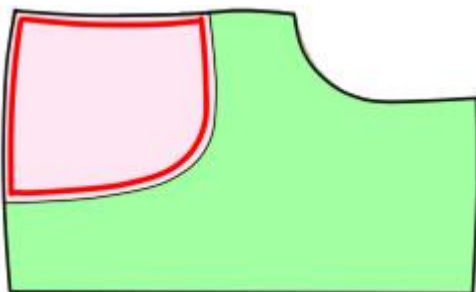
上手くズボン丈が測れないという方は



裁断した全てのパーツの端を**ほつれ止め**をしてください。  
ベルトと持ち出しの裏等に接着芯を付けてください。  
くわしくは[縫う前の下準備](#)を参照

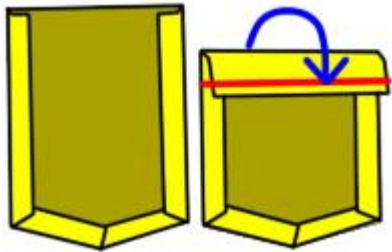


切ったあとパーツの前と後ろの区別が付かなくなったら？  
股ぐり(しの字の所)が浅いほうが前、深いほうが後です。  
一番最初に後のポケットを縫います。つける場合は一番最後のポケットを参照してください  
つけない場合は飛ばしてください



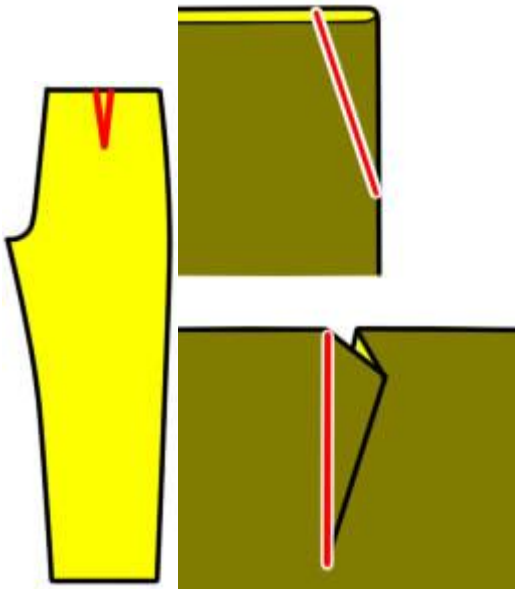
前ポケットの見える部分に表布重ねてください。  
赤い部分を縫ってください。

薄い生地なら全部表布で作ってもよいのですが、デニムなど厚手になると、生地が重なって厚くなるので、あえてポケットの土台は薄い生地で作り、見える部分だけに表布を重ねてください。



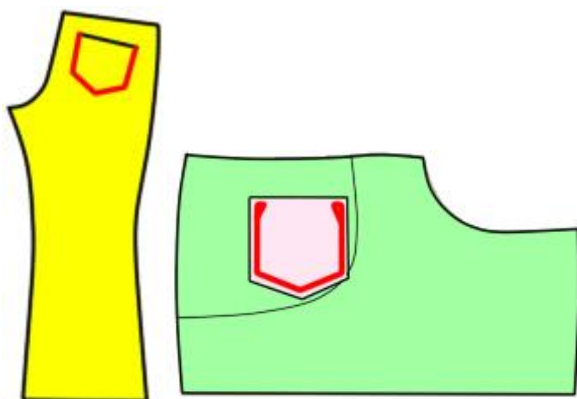
コインポケットと後ポケットの縫い代をアイロンで折ってください。

ポケットの口をミシンで縫ってください。



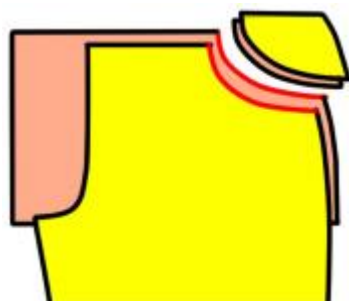
ダーツ(立体にする為のつまみ)のあるデザインの場合はダーツを縫って下さい。

ダーツのVの字の線同士が会うように折り、印の上を縫ってください。



後ポケットとコインポケットを縫って下さい

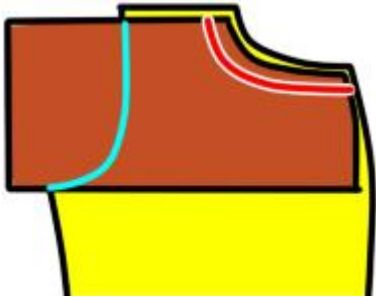
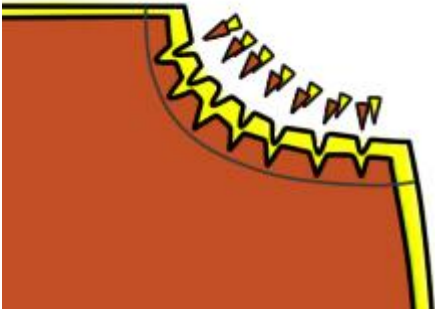
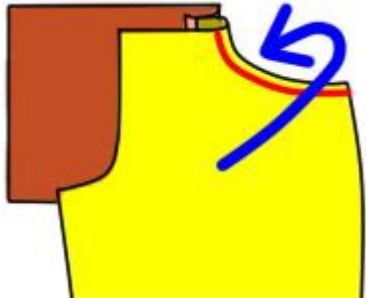

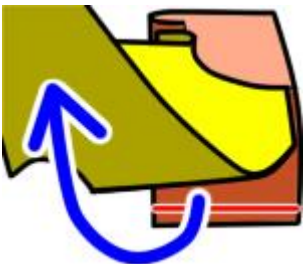
このときお好みでカシメ(鋏)やネイルヘッドなど金具を打ち付けてください。

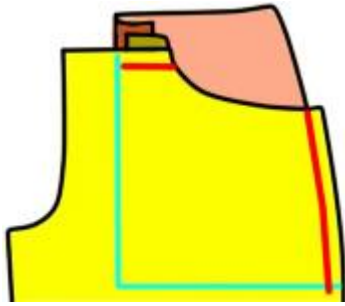


ポケットの部分を切り落とす。(広げたまま)

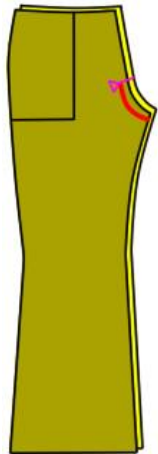
赤い線は切り落とし線(1センチ縫い代)

青い線が出来上がり線。

	<p>表を上にした前身頃の上に裏を上にしたポケットを重ね(中表)縫ってください。</p>
	<p>カーブの部分をそのまま折ると、外側と出来上がり線の長さが異なるため、引きつるので縫い代に切込みを入れてください。</p> <p>縫い目を切らないように 0.8cm位のところまで三角にきってください。</p>
	<p>ポケットを裏に回し、ポケット口の端から 0.2~0.5cmの所を縫ってください。</p> <p>お好みでジーンズのように2本縫ってもいいですね。</p>
	<p>ポケットを脇のほうへ半分に折ってください。</p>
	<p>本体をよけて、ポケットの底だけ縫ってください。</p>



ポケットの上と脇を端から 0.5cm の所を縫って固定してください。



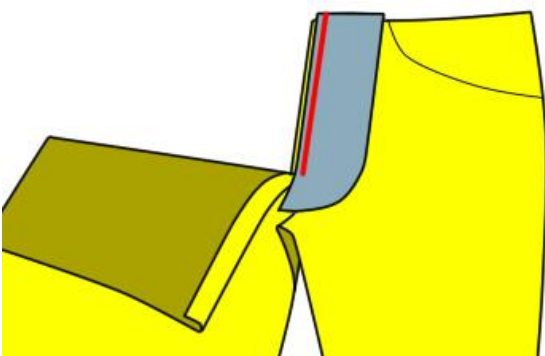
ファスナーが付く部分を避けて股の上を縫って下さい。

ファスナーはファスナーを付ける位置の長さより長いものを使って下さい。

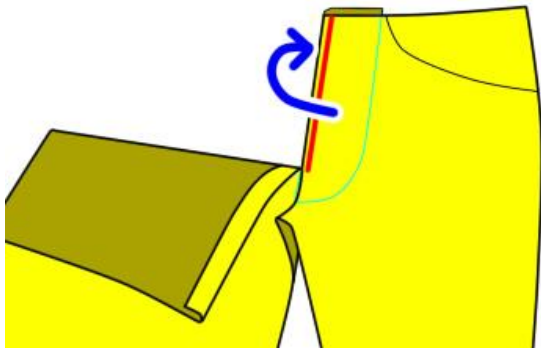
長いファスナーは切って短く出来ますよ。



ファスナーを付けてください。

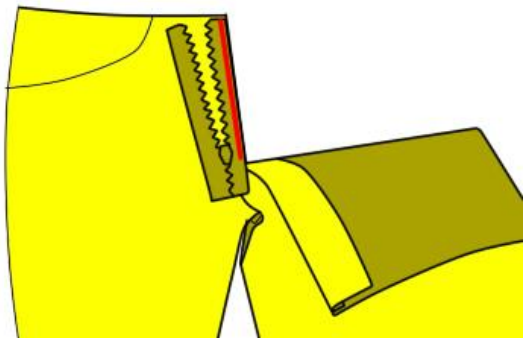


ズボンの前中心に[見返し](#)を裏を上にして重ねてください。  
端から 0.8cm の所を縫ってください。



見返しを裏側に折ってってください。

端から 0.2cm の所を縫ってください。

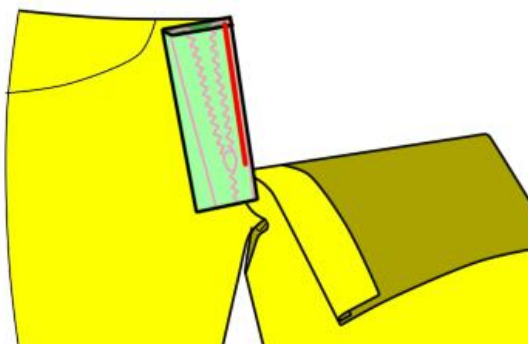


反対側の中心にファスナーを裏を上にして重ねてください。

ファスナーの端を、前中心の端より 0.2cm 位離しておく縫いやすいです。

(前中心ピッタリにファスナーを合わせるとミシンによっては、押さえ金の幅が広くて縫いにくいのでちょっとずらしておく縫いやすくなります。

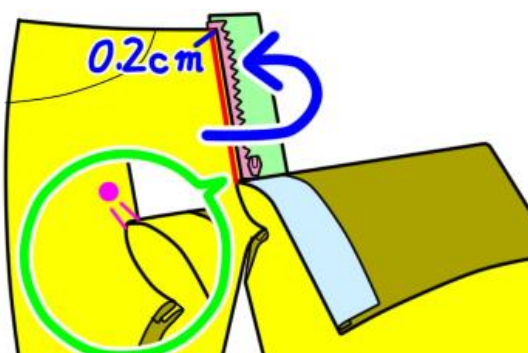
端から 0.5cm 位のところを縫ってください。



持ち出しを重ねてください。

折り山ではない方を端に合わせてください。

端から 0.8cm 位のところを縫ってください。

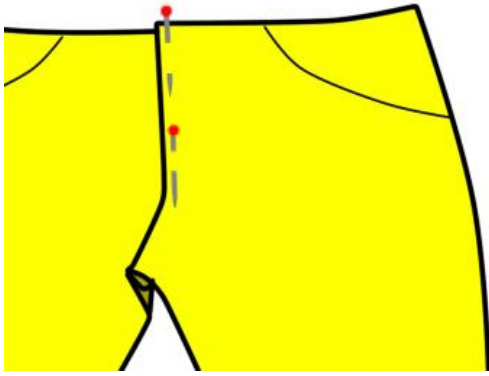


縫い代を裏側へ折ってください。

端から 0.2cm の所を縫ってください。

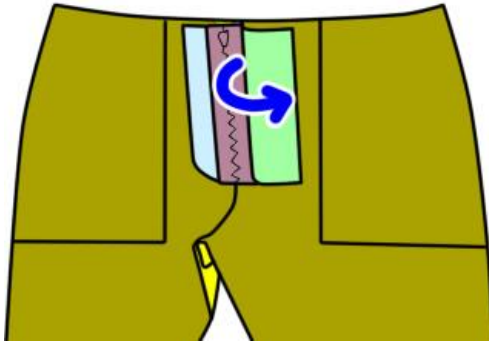
この時ファスナーあきの一番下の所は拡大図のように重ねてください。

この重なりのおかげでファスナーが隙間から見えるのを防ぎます。



出来上がり通りに前を重ねてください。

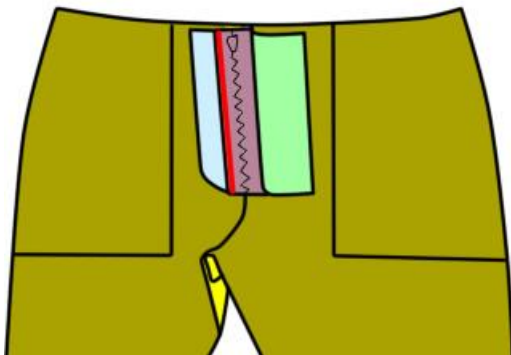
ずれないようにピンでとめてください。



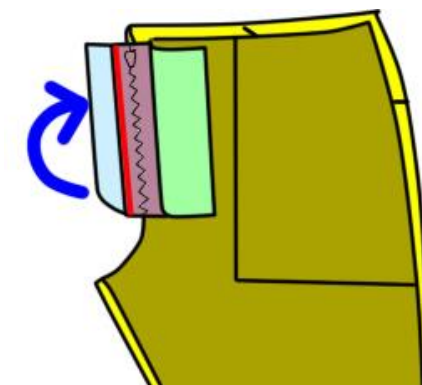
ここからは裏からの作業になります。

生地を裏が見えるように置いてください。

持ち出しをよけてください。



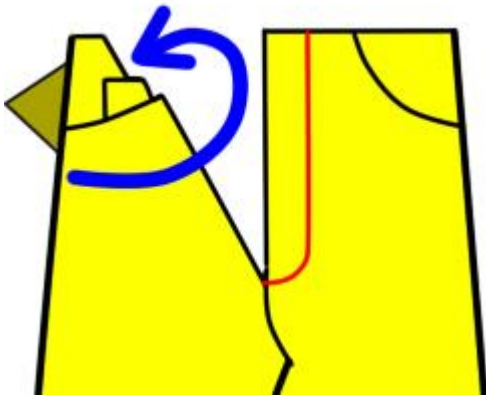
引きつったりゆるんだりしない自然な状態で、見返しと、ファスナーだけをピンでとめてください。



ファスナーと見返しを縫ってください。

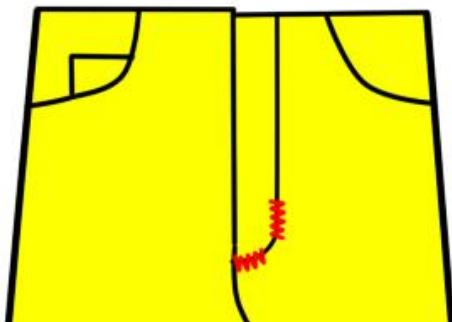
このときも**持ち出しをさけて縫う**。

縫っていく途中、ファスナーの金具が邪魔になることもあるとおもいますので、その際は金具を動かして縫ってください。

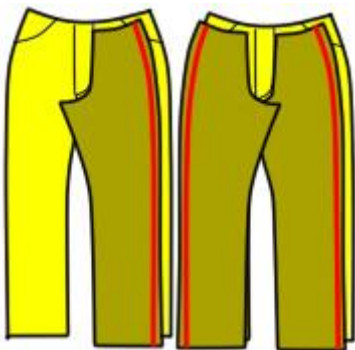


表側に返してください。  
 ぴらぴら浮いたままの見返しを押さえる為に、表から縫って固定する。  
 この場合も、**絶対下の持ち出しを縫わないように避けて縫って下さい。**

水などで消えるチャコペンなどで、あらかじめ縫う位置に線を引いておくと綺麗に縫えます。



見返しと持ち出しを固定してください。  
 よけていた部分を元に戻してください。  
 前身頃と、持ち出しと見返しを重ねて縫ってください。  
 返し縫を4~5回してとめても良いですが、ジグザグ縫いにして、縫い目の幅を小、縫い目の長さを0.2~0.4くらいにして細かくジグザグ縫いで縫うと、市販のズボンのようなとめが出来ます。  
 これでファスナー付けは完成。



前身頃と後ろ身頃を表が内側になるように重ねてください。

脇を縫って下さい。

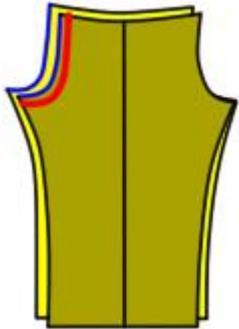
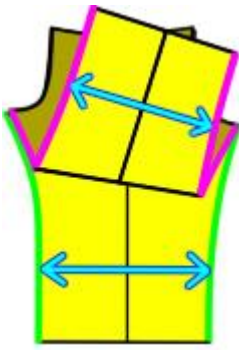


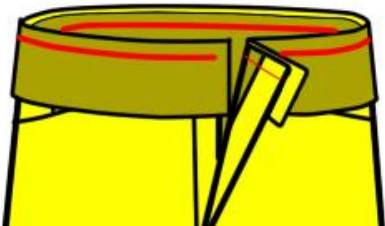
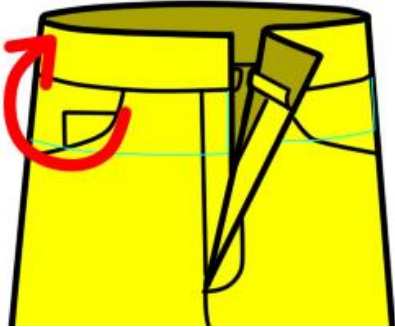
脇、股下の縫い方ははこの動画を参考にしてください



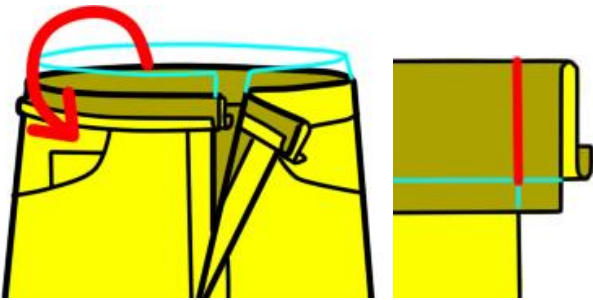
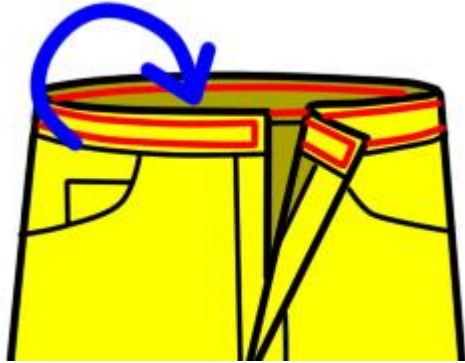
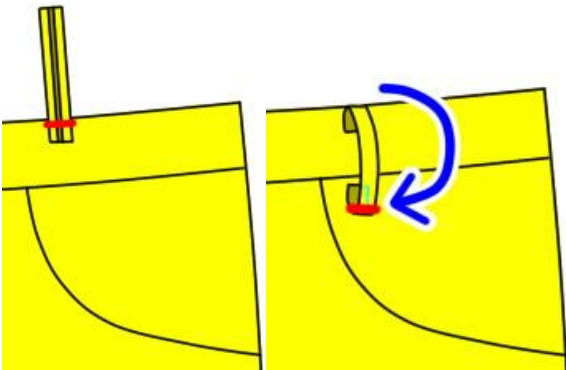
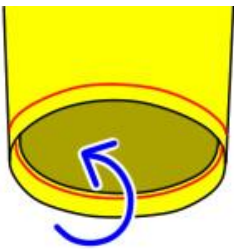

一旦ズボンを広げる。

脇の縫い代を後ろ身頃の方へ倒して、後ろ身頃側に縫い代を固定するために縫い目から0.2~0.5cmの所を縫う。

2本縫ってもよい

	<p>上の図の後ろ<u>身頃</u>の股の上(青い部分)同士を表同士が内側になるように重ねる。</p> <p>後の股の上を縫う</p>
	<p>繋がった股の下同士を合わせる</p>
	<p>上の図のピンクの線同士と黄緑の線同士を表同士が内側になるように重ねる。</p> <p>股の下を縫う。</p>
	<p>ベルト通しを作る。 ほつれどめを忘れずに！ アイロンで両端を裏側に折る。 両端 2~3mmの所を縫う。</p>
	<p>ズボンを表返す。</p> <p>表にしたベルトの上に裏を上にしたベルトを重ねる。</p> <p>ベルトの両端の縫い代がはみだすように重ね縫う。</p>
	<p>縫い合わせのところからベルトを起こす。</p>



	<p>ベルトは裏がえった状態のまま、持ち出しの延長線上を縫います(拡大図参照) 裏側のベルトは下の縫い代はまっすぐのままで構いません。 縫い代を折りあげると厚くなりすぎて家庭用ミシンでは縫えなくなる場合があります。</p>
	<p>ベルトを表返し、身頃の縫い代をベルトの中に入れる。 端から 2~5mmの所を表から縫う。 縫いにくい場合は先にしつけ糸でミシンで縫う所より 2mm離れた所を縫っておくとミシンで縫いやすくなる。 (ミシンで縫うところを縫うと後で抜きにくくなるので、少しはなれたところを縫ってね)  後でほどくのでしつけ糸は粗い縫い目で良い。</p>
	<p>ベルト通しはお好みで数をかえておつけください。</p>
	<p>アイロンですそを折る。 すその縫い代より 5mm 短めのところをミシンで縫う。</p>
	<p>カギホックかボタンホールを開けてボタンを付ける。  完成  お疲れ様でした♪</p>

## どんな生地を買ったらいいのかわからない方へ

### ポリエステルツイル

とりあえず安く縫いやすいものという方にはこちらをおすすめします。

中厚地の生地なので縫いやすいです。

市販の綿パンツは大体この生地を使っていることが多いです。

### ・カラーデニム・カツラギ

厚地の綿生地です。

丈夫でカッコリと重厚な仕上がりになります。

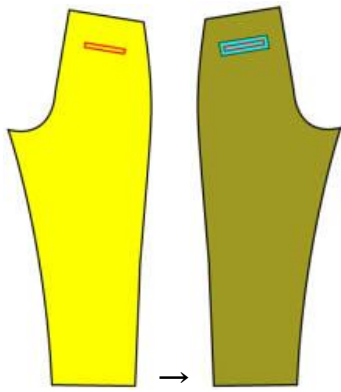
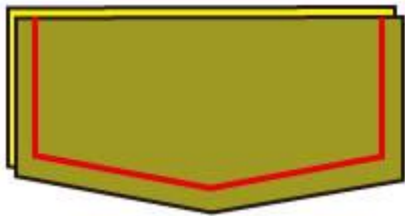
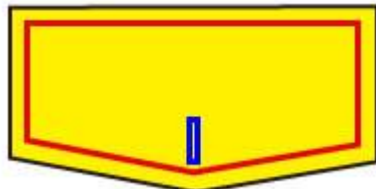
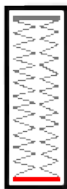
カーゴパンツとかがっちりさせたい場合はこちらを買うと間違いないと思います。

### 綿ツイル

色数、柄が多いです。

上記のカラーデニムやカツラギよりやわらかい仕上がりになります。

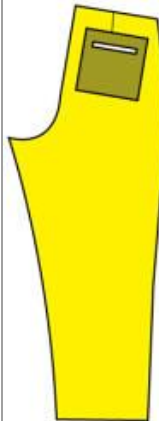
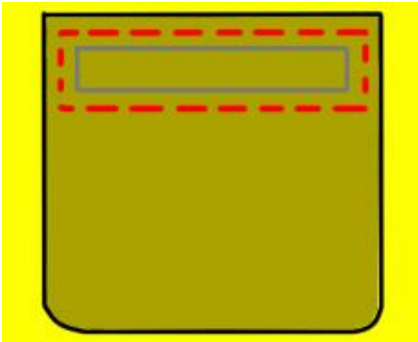
### たまぶちポケットの縫い方

	<p>ポケットを付ける位置に印を付ける。 ポケットの穴を開ける場所の裏に接着芯を貼る。 型紙についている縫い代の印を忘れずに写す。</p>
	<p>雨ふた付きの服にする場合は先に雨ふたを作る 2枚重ねた布が内側同士が表になるように重ね(これを中表といいます)縫い代を縫う。 ひっくり返すために一部開けておく。</p>
	 <p>表に返して、アイロンで形を整える。 端から5mmの所を縫います。 ボタンを付ける場合は、この時点でボタンホールを開ける。 ボタンホールの開け方はミシンの種類に</p>

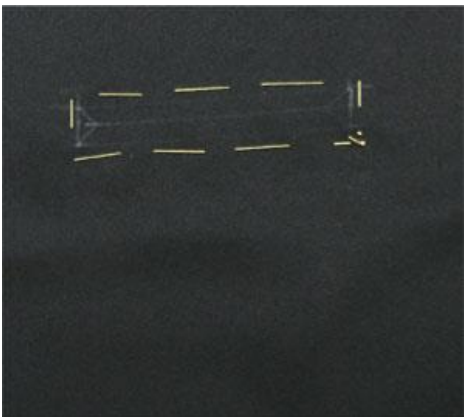
よって異なるので、ミシンの説明書を見るか[ボタンホール](#)  
[の開け方](#)を参考にしてください



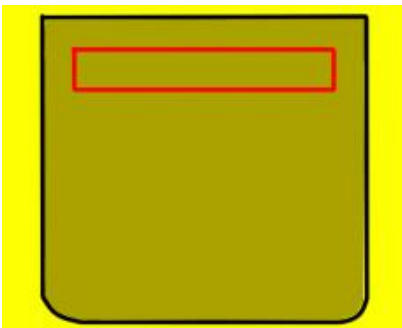
ポケット布に型紙から図のように線を写す。



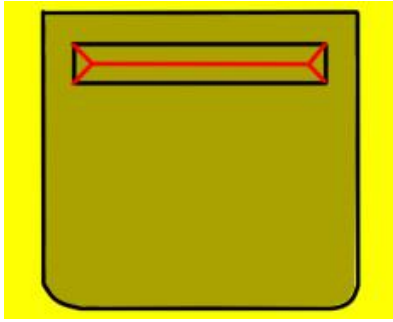
身頃に描いたポケットの印と、ポケット布の印  
を合わせる。  
この時身頃は表を上、ポケットは裏を上にし  
て重ねる。  
ずれないようにしつけ糸を使って手縫いで固  
定する。  
印か 3~5mm くらい離れたところを縫う。  
近くを縫うとミシンで上を縫ってしまったとき、  
糸を抜くのが大変になります。



裏から見るとこんな感じ

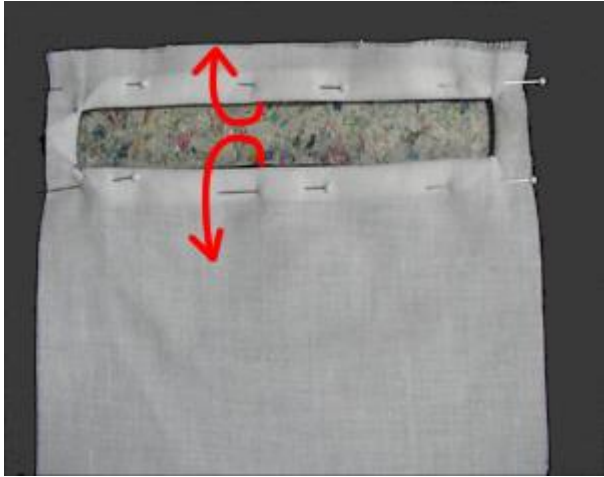


ミシンで四角の印の上を縫う。

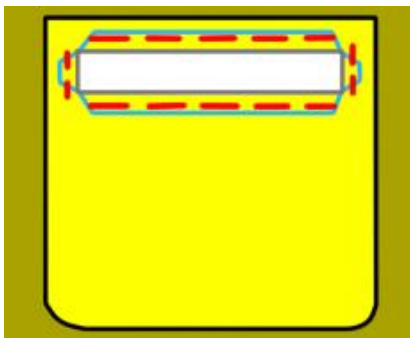


ハサミで赤の印の上を切る。

この切り口からポケット布を裏へひっくり返す。



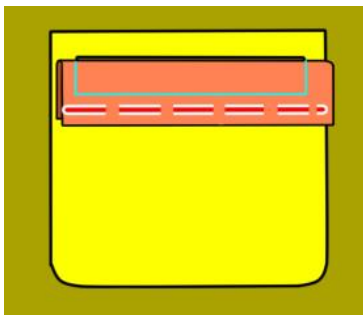
裏側へポケット布を引っ張り出したら、形を整えてピンで固定する。



穴の端から3~5mmの所をしつけ糸で縫う。

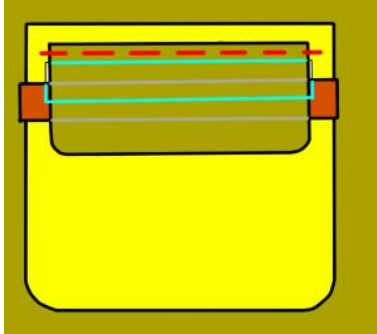
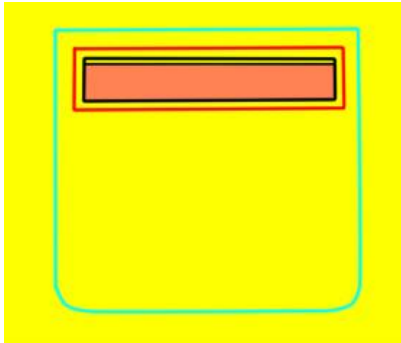
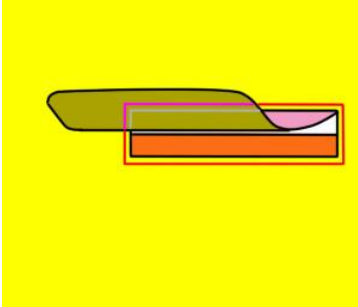
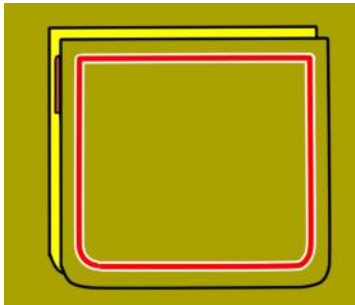
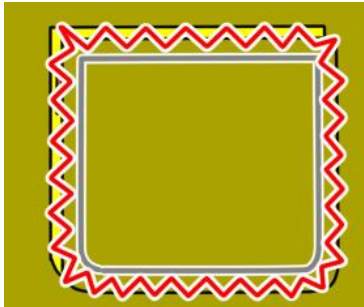


たまぶち布(オレンジ色の生地)を半分に折る。



しつけ糸で玉ぶち布、ポケット布、表生地を一緒に縫う。

たまぶち布の端から5mmの所を縫う。

	<p>雨ぶたを付ける場合は、雨ぶたを重ね、仕付け糸で端から5mmの所を固定する。</p>
	<p>表にひっくり返して、ポケットの穴から1~2mmの所をミシンで縫う。 この時点でしつけ糸は外す。</p>  <p>雨ぶたつきの場合は、雨ぶたを表に引っ張り出して、余計な所を縫い込まないようによけて縫う。</p>
	<p>裏返して、もう一枚ポケット布を重ねる。 ポケット布同士の縫い代を縫う。</p>
	<p>ポケット布2枚一緒にほつれ止めする</p>